事例No.	1125
公表年度	R2
団体の属性	町村
団体名	群馬県甘楽町

事例区分	一般行政

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・EBPM ・組織改革

事例種類	森林の集積・集約化

事例内容・タイトル

森林経営管理制度運用実施に向けた１年目の取組

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

群馬県　甘楽町（森林経営管理制度運用実施に向けた1年目の取組）

- 本町の森林面積は、3,448ｈａで町の総面積の59％を占めている。民有林面積は、2,839ｈａで、そのうちスギを主体とした人工林の面積は1,690ｈａであり、人工林率は60％である。また、特に人工林の中で50年生を超える林分が６割を超えており、今後は、皆伐・再造林・保育・間伐等適正な施業を実施していく必要がある。
- 本町は、森林・林業を専属とする職員がおらず、山林の現状把握が不足している状況にあることから、今後の森林経営管理制度の運用として意向調査を実施していくため、令和元年度においては、次の業務を地域森林の実情に精通している地元森林組合に委託した。
  - 今後、町が森林経営管理制度の運用を行うための５カ年の実施計画（基本構想）の策定
  - １林班（甘楽町大字天引地内の第４林班）の森林概況調査の実施

□ 事業内容

1　制度運用のための実施計画の策定

- 民有林面積から町有林及び森林経営計画の対象森林面積を除く森林区域約1,198haを対象とし、概ね15年で意向調査等を完了することを前提に森林環境譲与税額の推移も考慮して、当初の５カ年の実施計画（基本構想）を策定した。

【事　業　費】1,305千円（譲与税1304千円、町費１千円）

【実　　績】5カ年の調査対象計画面積　244.34ha、11林班分

2　森林概況調査の実施

- １林班分の民有林区域の人工林を対象とし、森林簿及び林地台帳の森林資源情報から事業区域調査票を作成し、現況樹種等の照合を行った。

【事　業　費】460千円（全額譲与税）

【実　　績】調査区域22.08ha、所有者25人、筆数38筆





（事業２：意向調査添付用現地写真　林内及び上層の様子）

□ 事業スキーム

1　計画策定（甘楽町森林経営管理制度実施事業計画策定業務）

町 → 委託 → 森林組合

2　現況調査（甘楽町森林経営管理意向調査対象森林概況調査業務）

町 → 委託 → 森林組合

□ 工夫・留意した点

- １の事業においては、森林簿の情報、路網の整備状況からプラス要素、マイナス要素の加点により森林概況調査の対象森林を選定し、区域の優先順位を決定した。
- ２の事業においては、地番ごとに現況写真の撮影、整理を行った。また、今後の経営管理権設定を踏まえ１の計画策定時に設けた基準により採算林、準採算林又は不採算林の判定を実施した。

◇ 基礎データ

①令和元年度譲与額	2,226千円
②私有林人工林面積（※１）	1,305ha
③林野率（※２）	54.4％
④人口（※３）	13,200人
⑤林業就業者数（※４）	5人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　※３，４：「H27年国勢調査」